

浜松市役所 就活TOPICS

浜松市役所 人事委員会事務局では「浜松市役所 就活TOPICS」として、就職活動や企業研究を行っている皆さんに最新情報をお届けしています！

浜松市役所 研修制度の紹介

浜松市役所では、職員の育成のため、キャリアや意欲に合わせてきめ細かく充実した研修制度が整備されています。今回は職員育成の第一線に携わっている総務部人事課の飯田智也さんに研修制度についてお聞きしました。

1 まず浜松市役所の研修制度の概要を教えてください。

人事課が主催する研修では、①入庁年度や職位(新規採用職員や主任、課長など)に応じて実施する「階層別研修」、②業務上の課題や問題意識の解決を手助けする「課題対応研修」、③国や民間企業などへの派遣を通じて知識・経験・人脈を市の業務へ役立てる「派遣研修」、④業務時間外の自己啓発を支援する「自主研修」など、職員が目的意識を持って受講できる研修メニューを企画・運営しています。

特に入庁1年目から5年目までは集中育成期間として、職員として習得しておくべきスキルに焦点を当てた研修を重点的に実施しています。(右表)公務員として働く基礎的なことは研修で身につけることができるため、皆さんには安心して浜松市職員を目指していただきたいと思います。

入庁後 年数	研修の目的	研修メニュー(一部)
1年目	“接遇”や“公務員倫理”などを学び、「市民への約束」を実践し、公務員かつ組織の一員としての行動がとれるようになるためのスキルや意識を身につける。	・公務員の基本となる講義の受講 ・各課担当業務などの講義を通して業務全般を幅広く把握
2年目	“文章力”や“プレゼンテーション能力”を向上させることで、伝える力を養う。法務執行に関する基礎的知識を養う。	・文章力向上研修 ・プレゼンテーション能力向上研修 ・法制執務研修(基礎)
3年目	“ロジカルシンキング”によって、ビジネスパーソンとしての基礎スキルである論理的思考を身につける。	・ロジカルシンキング研修
4年目	デジタル人材の育成の入口として、地域データの活用方法について考え方を身につける。	・地域データ活用研修
5年目	日頃の業務において政策的な意識を持ち、課題解決につなげていくため、政策形成について学ぶ。	・政策形成研修 ・法制執務研修(応用)

▲入庁1年目から5年目までの研修目的と研修メニューの一例

2 浜松市の職員が目指すべき職員像を教えてください。

浜松市では「変化を先取りし、市民の目線で考え、果敢に行動する職員」を目指すべき職員像としていますが、それぞれ以下のように考えることができます。

変化を先取りし

人口減少や少子高齢化、第4次産業革命の到来など、社会環境が大きく変化していく中で、今までどおりが通用しないことが今まで以上に増えていることから、変化を先取りしていく。

市民の目線で考え

“市役所は市民の皆様のお役に立つ所”であることを自覚し、市民の皆様の様々な価値観や多様性を認めた上で、最適なサービスを考える。

果敢に行動する職員

前例踏襲主義や事なかれ主義ではなく、積極性をもって行動する。

浜松市職員 人材育成基本方針～市民サービス向上のために～ (令和2年3月改訂)

目標	目指すべき職員像	変化を先取りし、市民の目線で考え、果敢に行動する職員
「目標達成」「課題解決」を「継続」の姿勢で実践し、「市民への約束」を践むこと	心身ともに健康で、志を持ち学び続けることで、仕事と生活の両立を実現している	
① 階層別研修	方針:「レベルアップへの必須アイテム」 階層に応じた能力向上研修を実施する	新規・拡充する取組 ① 職 ①: (new) いづれでも、どこでも学べる職場の整備(色紙研修共通) ICTを活用し、サテライト会場での受講や動画等により、学びやすさを提供する
② 課題対応研修	方針:「スキルアップへのパスポート」 受援課(仕事)の課題を「スキル」で克服する	② 職 ②: (new) 地域データ活用研修の実施 自治体連携のデジタルファーストに対応し、「デジタル人材」を人材育成から育成する デジタルファースト対応研修(デジタルファースト研修)
③ 派遣研修	方針:「人を大気育てる」新しい世界へ 派遣研修で得た知識・経験・人脈が仕事に活かされている	③ 職 ③: (new) 階層別研修の拡充 階層別研修が、積極的な研修への参加、その結果職場で還元する
④ 各課主催研修	方針:「あるあるアップ」業務スキルアップ 各課業務で得た知識・経験・人脈が仕事に活かされている	④ 職 ④: (new) 民間セミナーの自主運営研修の実施 職員自らの成長で社会へ広げ、企業・運営することで、デジタル精神等を醸成する
⑤ 自主研修	方針:「投資する」は「ミラ」の自分 個人の学びを組織の成長に活かしている	⑤ 職 ⑤: (new) 階層別研修等の受講促進 会計年度任用職員等の多様な研修の受講促進を図り、生産性を向上させる

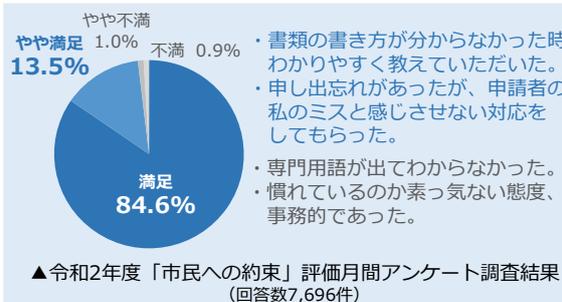
CLICK HERE

▲目指すべき職員像を達成するため手段別別に研修をまとめた人材育成基本方針(画像をクリックすると全体をご覧いただけます。)

私たちが研修を企画する際にも、この3点を意識して構成するようにしています。

3 研修を企画する上で工夫されていることなどがあれば教えてください。

まず、市民対応の基本となる接遇研修を重点的に実施していることです。特に新規採用職員は、入庁直後と8~9ヶ月後のフォローアップ研修の2回にわたって接遇の基本を学んでもらいます。それ以外にも7区ある区役所を巡回する接遇研修を開催するなど、全ての職員が接遇意識とスキルを高める取組を行っています。接遇研修を充実させることで、令和2年度に市役所利用者を対象に実施した「市民への約束」評価月間アンケート調査では回答数7,696件のうち「満足(「満足」、「やや満足」の合計)」と回答いただいた方が全体の98.1%を占めるなど、一定の成果が得られています。



◀研修を進行する飯田さん

また最近では、令和元年10月に浜松市が「デジタルファースト宣言」を行ったことを踏まえ、デジタル人材の育成にも力を入れて取り組んでいます。AI・RPA活用研修や地域データ活用研修などの研修を通じて、行政におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を自分ごととして捉え、業務に活用していこうという意識の定着を図っています。

- ・費用対効果を意識する習慣をつけ、業務の効率化を図れるように心掛けていきたい。
- ・業務に対して、AI・RPAが活用できないかという視点を持てるようになった。

地域データ活用研修/AI・RPA活用研修参加者アンケートより

ここからは飯田さんご自身のことについて教えてください。

日頃どのようなことに意識をして仕事に取り組んでいますか？

浜松市では、市民対応や業務への向き合い方など5項目を「市民への約束」として掲げています。私自身、職員研修などの人材育成に携わっていることから、まずは自分自身が職員の模範になれるよう、日頃から「市民への約束」を意識して業務に取り組んでいます。

市民への約束

1. 市民の目線で、市民の立場に立って仕事をします。
2. できる限り速やかで柔軟に仕事を行うよう努めます。
3. 少ない経費で大きな効果を上げるよう、税金を大切に使います。
4. 何ごともわかりやすく説明します。
5. 親切でていねいな対応をします。



飯田 智也 Iida Tomoya

大学卒業後、平成27年度入庁。市民協働・地域政策課を経て、人事課人材開発担当。

仕事で苦労したエピソードなどがあれば教えてください。

コロナ禍での研修開催にはかなり苦労しました。感染状況を踏まえた研修実施の判断、会場受講とオンライン受講の併用開催など、会場関係者、講師、受講者といった様々な関係先と調整を行う必要がありました。特に会場受講とオンライン受講の併用開催の際は、グループワークの進め方や会場受講者とオンライン受講者のコミュニケーションの取り方など、限られた機材や準備期間で対応を検討しました。今後も引き続き、様々な取組がリアルとオンラインの組み合わせで行われていくことになるかと思っておりますので、このようなノウハウを学ぶことができたのは、良い経験になりました。

新規採用職員として入庁した後はどのような仕事をしていましたか？

入庁して最初に配属された部署は「市民協働・地域政策課」で、4年間勤務しました。最初の2年間は、中山間地域グループで市内の中山間地域(天竜区と北区引佐町の北部)への移住・定住のPRや中山間地域内の空き家活用などを担当しました。次の2年間は、地域政策グループで、協働センター全体の管理・運営や成人式の取りまとめなどを担当しました。同じ部署でも全く異なる内容の仕事に携わりました。

市民協働・地域政策課では、「前例にとらわれないこと」「職場内外のコミュニケーションの大切さ」「タイムマネジメント」について、当時の上司や先輩職員から折に触れて指導いただいたことで、自己成長につながる得難い経験ができたと感じています。

最後に就活生の皆さんにメッセージをお願いします。

皆さんも耳にされたことがあるかと思いますが、浜松市はよく「国土縮図型都市」と表現されます。浜松市は日本の縮図とも言える様々な特徴を有していますが、一方で多様な課題を抱えており、職員にはそれらを市民協働の考え方で解決していくことが求められます。

市民の方と一緒に多岐にわたる課題を解決していきたい、浜松市に貢献したいという熱い気持ちを持つ就活生の皆さんと一緒に職員として働けることを楽しみにしています。

就職活動は大変だと思いますが、「やらまいか精神」で乗り切りましょう！



市役所内で実施しているGood Job運動(業務改善活動)で市民協働・地域政策課が市長賞を獲得した際のプレゼンの様子と市長とのツーショット写真

12月に仕事研究セミナー開催

#浜松市役所オンライン仕事研究セミナー

令和3年
12/20月

- 時 間 | 午前の部 10時～12時・午後の部 14時～16時
- 定 員 | 各回150名
- 申込期間 | 11月15日(月)から
12月13日(月)17時まで

CLICK HERE

12月に「#浜松市役所オンライン仕事研究セミナー」を開催します！
地方公務員や浜松市で働く「楽しさ」について、特別映像やクイズなどを交えて紹介
します。

公務員を目指している方、就職活動先で悩んでいる方など、ぜひご参加ください！

※詳細・申込はボタンをクリックください。



▲令和2年度オンライン仕事研究セミナー
(パネルディスカッションは映像を公開しています。
画像をクリックすると該当ページにジャンプします。)



浜松市人事委員会事務局
430-0929 浜松市中区中央一丁目12-7 TEL:053-457-2201



市HP職員採用ページ

LINE公式アカウント▶

